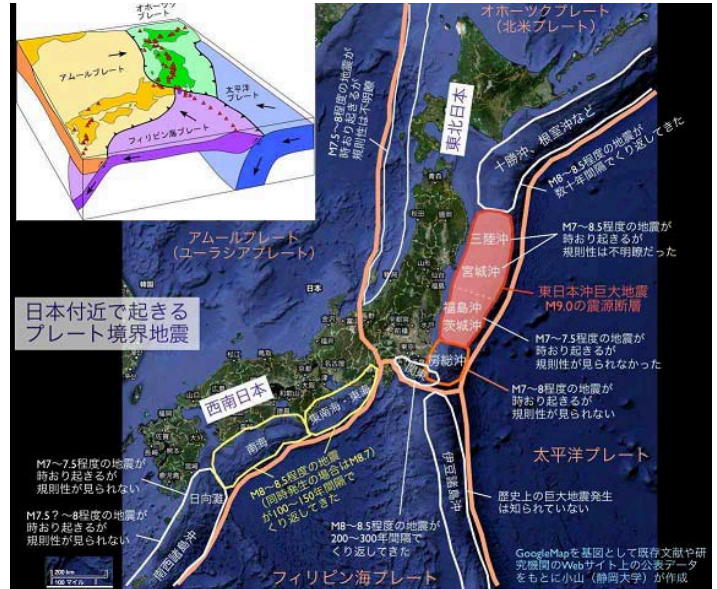


昇太郎ニュース: Vol.013

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には心より謹んでお見舞い申し上げます。
皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

2011年3月11日午後2時46分ごろに発生した東日本大震災は、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM9.0の大地震でした。一千年に一度の大地震で、各地に大きな被害をもたらしました。
今回の昇太郎ニュースは、弊社とその周辺から見た状況をニュースにいたしました。

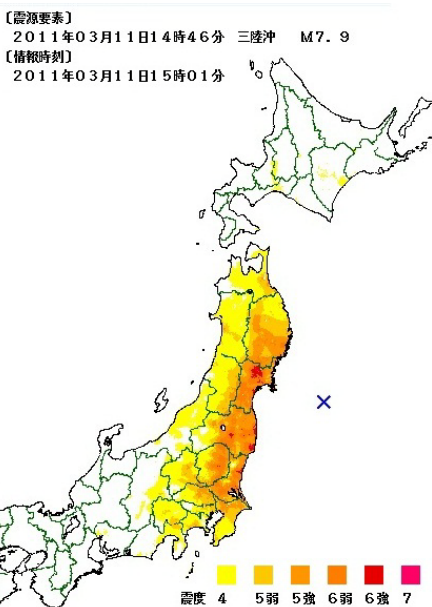
弊社は千代田区神田須田町に事務所があります。神田駅、秋葉原駅から徒歩5分で、靖国通り沿いの新幹線高架の側に立地しています。地震当日は帰宅困難者となり、事務所で一晩明かしました。弊社からは、鉄道状況、道路状況等がよく観察できるので、このニュースを書くために色々と観察しておりました。



弊社の状況

●神田須田町の揺れ

- ▶ 弊社が入居しているビル《神田セントラルプラザビル:鉄筋コンクリート(RC工法)1979年01月築、地上13階建》は、法律関係の事務所が多く、書籍類が多い為、殆どの事務所で本棚が倒れたとの事です。弊社の事務所では、組み立て式の机が2台壊れ、縦型のエアコンが倒れるのを手で支えていました。



●エレベーター

- ▶ 地震対策済みのエレベーターでしたので、直ぐに最寄り階に停止したようです。
- ▶ エレベーターの復旧は作業員がリセットするまで復旧しないシステムです。当ビルは翌日の土曜日まで、エレベーターは復旧していませんでした。この停止により、我々は8階の事務所から地上まで8往復することになりました。

『当日都内のエレベーター停止は、約3万件。

国土交通省は12日、地震により東北や関東、中部地方の11都県で計180台のエレベーターが停止し乗っていた人が閉じこめられ、同日午前10時現在で4都県(東京、神奈川、埼玉、千葉)にある16台のエレベーターに乗っている人の救助が完了していないと発表しました。』

●防災備蓄品

- ▶ 帰宅難民になって、一番役に立ったのは簡易毛布でした。防災&キャンプ用のブランケットでしたが、夜暖かく寝ることができました。

帰宅支援マップと今回の地震の比較

帰宅支援マップで一番頼りにしていたのが、帰宅時渋滞シミュレーションでした。私の購入した帰宅支援マップは、PM12:00 首都直下型地震発生 M7.3 を想定していました。今回の地震は午後 2 時過ぎで神田は震度 5~6 程度でした。この渋滞シミュレーションがどの程度役に立つか、リアルタイムに観察しました。



●帰宅支援マップ①発生直後(12:10):

発災直後から人々は動き始める。ランク E「やや混」の箇所が多い。

- **実際(15:00):** 人々が動き始めるというよりは、余震の為にビルに居られず、道路で様子を見ている人が多く見られた。

●帰宅支援マップ②3 時間後(15:00):

発災直後よりも混雑状況が激しくなっている。

- **実際(18:00):** 電車が止まっているにもかかわらず、人々の往来が絶えない。靖国通り、昭和通り共に上下線共に車が殆ど動いていない。

●帰宅支援マップ③6時間後(18:00) :混雑状況は 3 時間後に比べだいぶ落ち着く。

- **実際(21:00):** 3 時間後と変わらず、電車が止まっているにもかかわらず、人々の往来が絶えない。靖国通り、昭和通り共に上下線共に車が殆ど動いていない。

●帰宅支援マップ④9時間後(21:00) :この段階で、中心部の混雑は大方収まる。

- **実際(24:00):**、人々の往来は少なくなった。靖国通り、昭和通り共に上下線共に車が殆ど動いていない。私鉄は動いたが、JR は止まったままなので、都営新宿線岩本町駅は人であふれ改札までも行けなかった。
- **実際(翌日 10:00):** JR も運転を再開し人々は帰宅できた。靖国通りの下り線は相変わらず車が動いていない。昭和通りは車が多少流れていた。



帰宅支援マップの感想としては、地震が来たら帰宅するのは諦めて、事務所か公共施設で交通機関の回復を待つしかないのでは、という印象でした。

道路の写真は、地震後と平常時の写真です。神田須田町周辺は、道路渋滞はあまり無く、人通りも多くない場所です。

* 今回使用した写真は、内閣府、静岡大学ホームページ掲載写真を使用しております。